

9月1日からの地域活動および施設利用について

区分	参加人数の目安	行事開催の目安
屋内	収容人数の50% 以内	特定の地域からの来場を見込み 人数を管理できること
屋外	十分な間隔(2メートル)を確保できること	

※8月19日時点での情報です。感染拡大状況により、時期や人数上限が変更になる場合もあります。

200人収容の屋内ホールを使用する場合・・・
参加人数は100人！



会議・研修会

- 施設利用時の参加人数の検討、委任などの手段も活用し、最小限の人数で開催を検討する。
- 近距離での対面は避け、出席者の間隔を四方2メートルを目安に席を設ける。
- 事前の出席確認や事前申し込みにする。

飲食を伴うイベント

- 食器を置くテーブルや直接口に触れるものは、よく洗浄し、消毒すること。
- 食事の提供は、大皿などは避け、個別に提供するなど工夫する。
- 飲食物を提供する際は、提供者はマスクを着用、手洗い・消毒を行い、なるべく使い捨ての容器を使用する。
- ゴミ箱は、なるべく蓋付きで密閉できるものを利用する。
- 席に座る際は、対面を避ける。



感染防止対策を徹底し安全に実施しましょう

運動を伴うイベント

- 運動を行っていないときは、マスクを着用する。
- 走る・歩くイベントでは、できるだけ一列に並ばない。
- 屋内の場合は、更衣室、ロッカーなどの共有スペースの消毒作業や換気を徹底する。(換気できないときは、一時的に人数制限し、密集しないようにする。)
- 人と近距離での活動や接触する行為はできるだけ避ける。
- 活動中に大きな声で会話、応援などは控える。
- スポーツ用具の共用をできるだけ避けるため、持参してもらい、こまめに消毒する。

お祭り

- 屋台などの調理員は、必ずマスク、手袋を着用する。
- 行列などで人が密集しないよう、人と人との待機位置を指定したり、整理券を配布配布するなど工夫する。
- テーブルや椅子、マイクなどを使用した際は、使用者が替わるごとに消毒を行う。
- ゴミ箱は、なるべく蓋付きで密閉できるものを利用する。
- 密集を避けるため、入退場に時間差を設けるなど、人の動線を工夫したり、部分的な閉鎖も含め検討する。

友達 家族 地域を守るために

新しい地域活動の方法を考えましょう

市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、地域において安心・安全にイベントなどを開催するための留意事項をまとめました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、例年開催されているイベントの中止・延期が相次ぎ、今までにない夏を迎えました。

イベントなどの地域活動は、これまでの開催方法では安心して実施することが難しく、「新しい生活様式」を基に、感染防止対策を徹底する開催方法を考えていく必要があります。

イベントなどの開催を検討する際は、「新しい生活様式の遵守」、「3密の徹底的な回避」、「参加者の確認・把握」を基本とします。さらに、イベントごとの感染防止対策や、参加者の人数設定、業種別のガイドライン「感染拡大予防ガイドライン」(<https://corona.go.jp/>)を参考にしながら検討してください。

運営スタッフと参加者がともに安心して参加できるよう、感染防止対策を徹底し、地域活動を再開していきましょう。

新しい生活様式の遵守

- マスクを着用する。
- 身体的距離を確保する。(2メートル間隔)
- 手洗い、手指消毒を行う。

参加者の確認・把握

- 体調の確認。
- 参加者の把握。
- 厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)」の活用。

3密の徹底的な回避

- 密閉しない。
- 密集しない。
- 密接しない。

イベントなど 地域活動開催 の基本

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)をインストールしましょう

このアプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。詳しくは、厚生労働省ウェブサイトを確認してください。

ウェブサイトQRコード▶



参加者へのお願い

イベントなど参加当日に、次の3つのうちどれかにあてはまるときは、参加を自粛してください。

- 37.5度以上の発熱がある場合(または平熱比+1度を超過)
- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ、咳・咽頭痛などの症状がある場合
- 新型コロナウイルス感染症の検査で、陽性とされた人との濃厚接触がある場合など